

NEAにおける原子力分野のジェンダー・バランスに関する取組の状況

令和3年6月8日

原子力政策担当室

1. 検討の背景

NEAにおいては、原子力部門のジェンダー・バランスについて、次の様な問題意識を表明しており、その具体的解決策の模索のため、一連の会合を開催。

- 科学技術の多くの分野の場合と同様に、女性は原子力部門の技術的および指導的地位において、著しく過小評価。
- このようなジェンダーの多様性の欠如は、NEA加盟国の原子力エネルギーの将来に大きな影響を与えると予想され、労働者が高齢化し、多くの専門家が退職に近づく時期に、優秀な人材が見当たらなくなる可能性。
- 女性スタッフのリクルート、採用、維持、教育及びキャリアのあらゆる段階での条件や見通しの向上は、NEAが加盟国を支援する際の重要課題。

2. 取組の状況

(1) 原子力分野におけるジェンダー・バランス改善に関する予備的会合

(Exploratory Meeting on Improving the Gender Balance in Nuclear Energy)

2019年12月10日～11日・パリ 中西委員出席

※各国参加者より、原子力分野における男女共同参画に関連する取組についての紹介の後、グループ討議や自由討議を実施。中西委員よりは、自身の経験も踏まえつつ、科学分野における女性の働きについて、政府・原子力関係機関の男女共同参画に関する取組についての客観的かつ定量的なデータ等を紹介するプレゼンを実施。

(2) 原子力分野における女性リーダーのウェブ討議・対談

○2020年5月14日 WEB対談

マグウッドNEA事務局長

Dr. Rita Baranwal (Assistant Secretary for the Office of Nuclear Energy (DOE, U.S.))

○2020年5月28日 WEB討議

議長：Dr. Fiona Rayment (Chief Science and Technology Officer (NLL, U.K.))

パネリスト：Adrienne Kelbie (Chief Executive (ONR, U.K.))

Marie-France Bellin (Chairperson of the Board (IRSN, France))

/Professor, Paris-Saclay University)

Marilyn Kray (President of the American Nuclear Society (米国))

(3) 原子力分野におけるジェンダー・バランス改善に関する第2回ハイレベル・ワーキング
会合

2021年2月11日～12日 ウェブ会議

議長：Dr. Fiona Rayment (Chief Science and Technology Officer, NLL(U.K.))

中西委員出席

※第1回の会議を受け、ジェンダー・バランスに関する具体的な戦略を討議し、情報交換。その結果、参加国の多くで政策に対する有益な情報を提供するための「データ」不足の指摘が多数。サーベイ参加対象の規模を広げ、より多くの協力を得るために、国際レベルでのデータ収集の必要性和取組を検討すべきとのコンセンサス。

(4) ジェンダー・バランスに関するデータ収集サブグループ第1回会合

2021年3月25日 ウェブ会議

議長：Aleshia Duncan

(Deputy Assistant Secretary for International Nuclear Energy Policy and Cooperation, Department of Nuclear Energy, (米国 DOE))

中西委員出席

※原子力分野におけるジェンダー・バランス改善取り組みの一環として、ハイレベル・ワーキンググループの下、サブグループとして開催。原子力分野の女性に関するデータを収集するための「指標」と「対象」とを特定。定量的データは、パターンと傾向とを確立するために重要であり、定性的データは、同分野で働く女性たちが直面する具体的な課題と障害とを判明するのに役立つ等の議論。

(5) ジェンダー・バランスに関するデータ収集サブグループ第2回会合

2021年4月20日 ウェブ会議

議長：Aleshia Duncan

中西委員出席

※原子力分野の女性に関するデータ収集手段について議論。3月に特定された指標を、より効率的で分かり易いものにするため、

i) 定量的データを収集する調査手段

ii) 原子力分野に特有だと思われる、女性が直面する課題と障壁を理解するための調査手段

等について議論。

3. 今後の見通し

- サブグループにおいて更に調査方法及び調査項目の精査を行った上で、NEAは各加盟国の協力を得て、各国の原子力関係組織等の女性の意識や組織の現状に対する調査を行う見通し。
- 調査結果等を踏まえて、ハイレベル・ワーキングにおいてジェンダー・バランスの改善のための方策を更に議論していく見通し。

以上